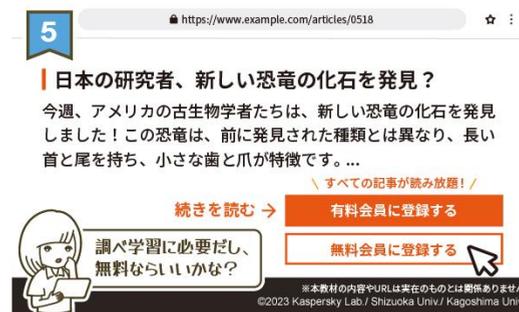
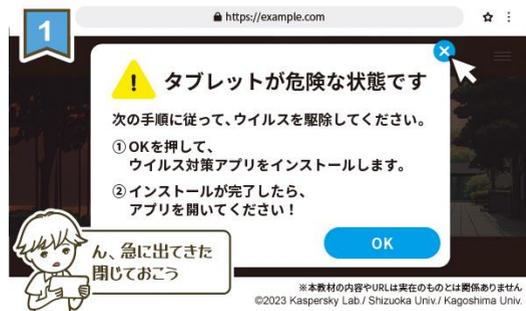


ネットのリスクから子どもや高齢者を守りたい 情報セキュリティ啓発教材 「ネットの『あやしい』を見きわめよう」について



ネットのリスクから子どもや高齢者を守りたい 情報セキュリティ啓発教材「ネットの『あやしい』 を見きわめよう」について

株式会社カスペルスキー 広報部

スマートフォンやパソコンをはじめとする情報通信機器の利用が日常的となり、子どもからお年寄りまでインターネットと生活との結びつきが一層強まっています。新たなサイバー犯罪も顕在化する中で何よりも問われるのが、一人ひとりの情報セキュリティリテラシーです。サイバーセキュリティ製品大手の株式会社カスペルスキーは、「Building a safer world」をミッションに、CSR活動の一環としてカード形式の情報セキュリティ啓発教材「ネットの『あやしい』を見きわめよう」を用いた活動に取り組んでいます。制作経緯などについて、株式会社カスペルスキー 広報部ご担当者様にご寄稿いただきました。

▶本教材制作の背景やその概要について教えてください。

■カードで情報セキュリティ啓発を

主な活動として、国立大学法人静岡大学塩田研究室と共同で開発したカード形式の情報セキュリティ啓発教材が挙げられます。最初の情報セキュリティ啓発教材は、2017年に同研究室と共同で開発した「ネットの『あやしい』を見きわめよう（中高生編）」でした。背景として、当時の内閣府が実施した2016年度の青少年のインターネット利用環境実態調査^{*1}があります。当時の中学生のスマートフォン^{*2}利用率は51.7%、スマートフォンでのインターネット利用率は47.3%となり、調査開始の2010年度より増加の一途をたどっていました。他方でそのような状況下でも、教育現場では子どもたちに対して、怪しいウェブサイトに気をつける以上の指導は難しく、具体的にそのようなサイトを見極める方法までの指導には至っていませんでした。また、怪しいアプリをどのように判断するかも、子どもたちにとって身近な問題となっていたことから、怪しいウェブサイトやアプリについて子どもたちが考え、判断できることを目的とし学校における授業での使用を想定して開発しました。

※1：内閣府「平成28年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」。満10歳から満17歳までの青少年3,284人が回答、うち中学生は1,279人。

※2：「スマートフォン」には、「いわゆる格安スマートフォン」、「機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン」及び「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」も含まれる。

「ネットの『あやしい』を見きわめよう」（以下、本教材といいます。）はカード形式になっており、子どもたちが直面する可能性のある実例に基づいたリスクの場面が端末画面を模したカードに描かれています。カードにはそのリスクに遭遇した子どもの率直な反応も掲載しています。単に事例を提示してその怪しさやリスクを判断させるのではなく、どこが怪しいのか、リスクはどの程度なのかを子どもたち自らが考え議論することで「見きわめる」スキルを養うことが期待できます。



カードの一例。本教材（小中学生編GIGAスクール版）より抜粋。

ネットの「あやしい」を見きわめよう 学校編		年 組 番
名前		

リスク大	絶対にやってはいけない。急いで大人に相談する。
リスク中	使い方を工夫することが必要。行動の影響を考慮注意深く使う。
リスク小	大きな問題はない。使ってもよいが注意は必要。

1 リスク 大 中 小

2 リスク 大 中 小

3 リスク 大 中 小

4 リスク 大 中 小

5 リスク 大 中 小

ネットの「あやしい」を見きわめよう 家庭編		年 組 番
名前		

リスク大	絶対にやってはいけない。急いで大人に相談する。
リスク中	使い方を工夫することが必要。行動の影響を考慮注意深く使う。
リスク小	大きな問題はない。使ってもよいが注意は必要。

6 リスク 大 中 小

7 リスク 大 中 小

8 リスク 大 中 小

9 リスク 大 中 小

10 リスク 大 中 小

オリジナルのカード及び台紙を用いて学習を行う。ネット上に潜むリスクは、使用状況で異なることもあるため、本教材（小中学生編GIGAスクール版）では、「学校編」（左）および「家庭編」（右）の2種類を制作した。

また、指導者用の指導案、授業で使用できる説明スライドなど一式を用意し、指導者が準備の手間なく授業が行えるようにしました。2023年には、GIGAスクール構想により、1人1台の端末を使用できる環境の普及に伴い、PC・タブレットでも使用できるようにした本教材（小中学生編GIGAスクール版）及びそのWeb版も提供しています。同教材は、2017年に制作した当初の内容を全面的に刷新し、現在増加しているなりすましや不正ログインなどのセキュリティ脅威を盛り込んでいます。（小中学生編GIGAスクール版の開発には国立大学法人鹿児島大学も参加しています。）

ダウンロードできる教材と資料



カード ZIP

※Web版を利用できない場合はこちらを印刷してください

授業で使用するカードの表裏、台紙のデータです（両面印刷用）

※カードの印刷用紙は下記をお使い下さい
 エーワン マルチカード 名刺（インクジェット、レーザー対応）
 A4版：2列×5段=10面 51002（10枚入り）・51003（100枚入り）・51004（500枚入り）
 ※プリンタの設定で「実際のサイズ」「長辺を縦じる」を指定して下さい



指導セット ZIP

先生が授業をするための
 指導者用ガイドブック/スライド/ワークシートです。
 （ワークシートは生徒に配布して下さい）

※ワークシートは、体育館などでの集合研修時に、カードの印刷版やWeb版の代わりに使用することもできます。

公式サイト（リンクは、記事末尾「もっと知りたい方はこちら！」に掲載。）からは、カードのデータのほか、「指導セット」と題し、指導者用ガイドブックや授業スライド、ワークシートがまとめてダウンロードできる。



リスク大

絶対にやってはいけない
 急いで大人に相談する



リスク中

使い方を工夫することが必要
 行動の影響を考え注意深く使う

リスク小

大きな問題はない
 使ってもよいが注意は必要

子どもたちが使用するタブレット端末等でも学習できるよう、ブラウザ上でカードを配置することができる本教材（小中学生編GIGAスクール版）Web版も制作した。

■シニア世代や18歳成人に対しても情報セキュリティ啓発を展開

2018年には、カード形式はそのままに本教材（シニア編）を静岡大学塩田研究室と共同で開発、提供しました。こちらも当時、シニアのインターネット利用が浸透し始め、それに伴い利用トラブルが増加していたことから、シニアの方々にインターネットリテラシーを高めていただき、安心してネットを利用できる判断力を身に付けていただくために開発したものです。2023年、新たに身近となっているリスクを加えるなどの更新を行いました。

やってみよう「基本編」

①～④のカードの中で

あなたが「あやしいかも」と感じるものは、どれでしょう？



カードの例。本教材（シニア編）より抜粋。

また、2021年には、成年年齢が18歳に引き下げられる2022年を視野に入れ、キャッシュレス決済や課金、ネットショッピングなどの注意点を学べる本教材（高校・大学生編）を開発、提供しています。なお、これらのカード教材は全て無償で提供しています。

やってみよう① ネットショッピング編

①～⑤のカードの中で

あなたが、「リスクがあるかも」と感じるものは、どれ？



カードの例。本教材（高校・大学生編）より抜粋。

小学校・中学校の先生方へ

情報セキュリティ啓発教材

ネットの「あやしい」を見きわめよう

GIGAスクール版

カスペルスキーの情報セキュリティ教育支援

高校・大学の先生方へ

情報セキュリティ啓発教材

ネットの「リスク」を見きわめよう

カスペルスキーの情報セキュリティ教育支援



「あやしい」サイトやアプリと、そのリスクを見きわめる

ネットの「リスク」を見きわめよう

2022年から成人年齢が18歳に引き下げられ、悪用しやすいデジタル決済やクレジットカード、ローンなど様々な取引手段を行うことができるようになりました。しかし、特にインターネット上での取引決済やクレジットカードの利用については様々な危険が潜んでいます。情報セキュリティ啓発教材「ネットの「リスク」を見きわめよう」は、クレジットカード決済や現金、ネットショッピングなどの取引手段を、具体的なシチュエーションの中でカードを使って考えながら学ぶことを目的としています。



地方公共団体・ボランティア団体のみなさまへ

情報セキュリティ啓発教材

ネットの「あやしい」を見きわめよう

シニア編 2023年度

カスペルスキーの情報セキュリティ教育支援

「あやしい」サイトやアプリを見きわめる

高齢者向けで使っているインターネットサイトやSNSサイト、しかし、インターネットには「偽装優良サイト」「偽りまじり」「フィッシング詐欺」「金銭の取扱い」といったさまざまな危険が潜んでいます。情報セキュリティ啓発教材「ネットの「あやしい」を見きわめよう（シニア編）」は、そうしたサイトやサービスから学ぶ機会を捉え、カードを使って考えながら情報セキュリティについて学ぶことを目的としています。



2024年2月現在、公開中の本教材は「小中学生編（GIGAスクール版）」、「高校・大学生編」、「シニア編」の3種類。

▶本教材を用いた、学校や地域における活用方法を教えてください。

2017年から現在まで、小中学校、高校、消費生活センターを始めシニア向け情報セキュリティ講座などで幅広く利用されています。

〈ご参考：弊社公式ブログ〉

「小中学生がネットのリスクを自分で判断する力を育成：授業レポート」：

<https://blog.kaspersky.co.jp/cybersecurity-educational-material-school-update/34299/>

「シニアのインターネット利用を一緒に考える」：

<https://blog.kaspersky.co.jp/protecting-seniors-from-cyberthreats/22145/>

▶本教材を使用された方の反応はいかがですか。

本教材（小中学生編GIGAスクール版）を用いて講座を行ったNPO法人からは、以下のようなコメントをいただいています。「日頃インターネットを使っている中で、子どもたちに立ち止まってほしいシーンを10パターン示すことができました。Web版ではタブレットを操作しながら考えるので飽きさせることがありません。GIGA端末に慣れてきたこのタイミングで本教材を取り入れることで、情報セキュリティに苦手意識のある先生にも容易に教えられるのではないかと思います」。

また、本教材（シニア編）を使用し講座を行った（一社）セーフアーインターネット協会 ネットセーフティ・アドバイザーの方からは次のようなコメントをいただきました。「シニアは技術的な難しい話は理解することが難しいため、具体例を示してどこがどのように怪しいのかというポイントを示したことが好評でした」。

▶今後の展望について教えてください。

これまでと同様に、その時々インターネットの利用状況やそれを狙う脅威、法規制などを視野に入れ、産学連携プロジェクトを通じて利用者が安全・安心にインターネットがもたらす可能性を享受できるように貢献していきたいと考えています。

▶消費者教育を担う先生方や、一般消費者の皆さんへメッセージをお願いします。

座学だけでは伝わらないリアルな体験を通じて、楽しくゲーム感覚で情報セキュリティを学べるのが本教材の特徴です。また、手間なく授業や講座が行えるように指導者用の資料も用意しています。非営利目的の使用であれば、どなたでも当社サイトからダウンロードしてご利用いただけます。全て無償ですので、ご活用いただき、一人でも多くの方がインターネットを楽しく安全に利用できるようになることを願っております。

もっと知りたい方はこちら！

株式会社カスペルスキーホームページ「カスペルスキーの情報セキュリティ教育支援について」（こちらのリンクから、3種類の本教材にアクセスすることができます。）：

<https://kasperskylabs.jp/activity/index.html>